

地域経渉の発展のため、産学官金連携で実効性のある取り組みを進めます

地域自治組織の取り組みから地域の支え 合いの重要性を学びました

4月1日に施行した「大崎市中小企業及び小規模企業振興条例」に基づいた、活力ある産業のまちづくりを推進するため、7月4日、同条例制定を記念したシンポジウムを開催しました。

この条例は、大企業、商工団体や金融機関、学校などの役割を明文化し、それぞれが連携しながら、市が責任をもつて中小企業・小規模企業の振興を進めていくものです。

基調講演では、京都大学名誉教授の岡田知弘氏が「振興条例を活用して地域を元気にする」と題し、大分県由布市の取り組みを紹介。全国屈指の温泉地である共通点を示した上で、地域経済発展や雇用創出など、地域の企業が市民生活の向上に大きな役割を担う存在であると話されました。

市では今後、地域産業の振興を図るため、必要な事業の検討などをを行う場を設定するとともに、産業支援の体制を強化していきます。

皆さんに将来にわたり安心して働き、生活ができる社会のため、実効性のある取り組みを推進していきます。

基調講演では、公益財團法人さわやか福祉財団理事長の清水肇子氏を迎え、全国の地域包括ケアの取り組み事例を紹介。互いの見守りやいきがい、地域の誰かの活力となることを創出するためには、「自助・互助・共助・公助」が、それぞれに効果を發揮することが必要です。

パネルディスカッションでは、鹿島台まちづくり協議会（健やか安心委員会）委員長大町順孝氏と池月地域づくり委員会（池月サポートセンター）センター長高橋一夫氏が、それぞれ生活支援体制整備事業開始のプロセスを紹介しました。事業導入後、鹿島台地域では、高齢者を対象として支え合いに対する意識を高め、活動の創出に取り組んでいます。

29日	23日	20日	15日	8日	7日	5日	4日
● 参画推進審議会	● 姉妹都市締結20周年愛媛県宇和島市・大崎市 民親善訪問団（25日まで）	● 移動市長室「おおさき宝探し未来トーク」 図書館開館2周年記念事業（21日まで）	● 第38回学童相撲大会	● 引渡式	● 台湾インター生受入	● 大崎市消防団演習	● 道の駅おおさきオーブン

● 南三陸町復興御礼感謝状贈呈
● 優良工事表彰状授与式
● 神碑除幕式
● 古川東口タリーカラーブ創立40年記念事業記念

● 大崎市道路クリーンキャンペーン出発式
● キヤンペーン出発式

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント・・・。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



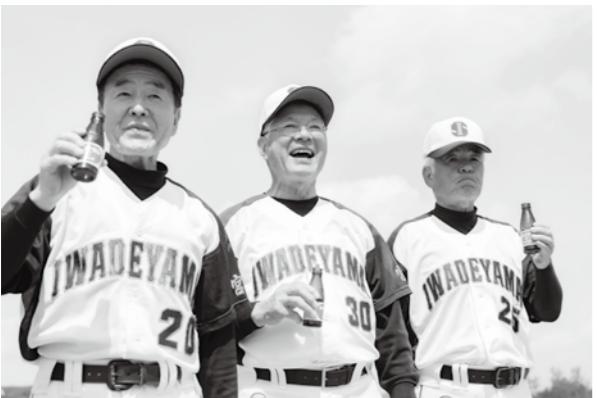
岩出山発

老若男女の元気な笑顔がCMになりました！

市内では、各地域をより強く、より良くするため、「まちづくり協議会」や「地域づくり委員会」などの団体が住民によりそい、地域を支えています。

今回、岩出山地区のさまざまな地域活動や人々のつながり、元気な姿が評価され、岩出山地区の人々が大塚製薬(株)のCM出演に起用されました。

この取り組みは、日本全国でも特に元気に活動するコミュニティ・団体の様子を発信し、地域もCMを見た人も元気にしていくと、大塚製薬(株)が



▲今回撮影された元気な姿を映した写真のうち、約260枚を飾る写真展が開催されます。



ハツラツ写真展

日時 8月16日(金)～18日(日)
9時～17時
場所 岩出山地区公民館

松山発

世界農業遺産 大崎耕土の水管理を学びました

6月27日と7月4日、世界農業遺産を学ぶ講座が2日にわたって開催され、松山地域の約20人が世界に認められた水管理への理解を深めました。

松山公民館が主催したこの講座は、昨年度に引き続き2回目。今回は松山地域の巧みな水管理として「ため池・頭首工などの活用」をテーマに実施され、現代の用排水と昔の蓄水を比較し、農業の発展とともに変化してきた水の活用方法について専門家の話を聞きました。

7月4日には、二ツ石ダム（加美町宮崎）や桑折江頭首工（三本木桑折地区）、阿久戸排水機場（鹿島台船越地区）を現地視察し、極端な水不足や洪水から、大崎耕土の農業を守ってきた知恵を学びました。参加者は「実際に見ることで、何気なく見てきた田園地帯に、先人の苦労や知恵が詰まっていることを実感できた」と話していました。



▲阿久戸排水機場の視察では、今と昔の水管理の違いを聞きました。